

第 6 章

分野別計画

総合計画においては、それぞれの行政課題に対応する政策・施策の基本的な方向を体系的に定めた行政分野ごとの中期計画等を、基本構想を具体化する分野別計画として位置付けることとしています。

分野別計画の主なものは次のとおりです。

(令和6年3月現在)

■ まちづくりの目標1 「誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち」

計 画 等 の 名 称	計画期間(年度)
第2期高松市子ども・子育て支援推進計画「高松すくすく子育てプラン」	R2～R6
高松市子どもの貧困対策推進計画	H30～R6
第4次高松市地域福祉計画	R6～R13
第9期高松市高齢者保健福祉計画	R6～R8
たかまつ障がい者プラン	R6～R8
第3期高松市データヘルス計画	R6～R11
高松市健康都市推進ビジョン	H26～R6
第2期高松市自殺対策計画	R6～R10
第5次高松市病院事業経営健全化計画	R6～R9

■ まちづくりの目標2 「人を育み、多様な生き方が尊重されるまち」

計 画 等 の 名 称	計画期間(年度)
第3期高松市教育振興基本計画	R6～R13
高松市学校施設長寿命化計画	H30～R39
第2期高松市ICT教育推進計画	R6～R9
高松市視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する計画	R3～R7
第6次高松市子ども読書活動推進計画	R6～R10
高松市人権教育・啓発に関する基本指針	H28～
第5次たかまつ男女共同参画プラン	R4～R8
高松市学校給食調理場整備計画	R3～R9

■ まちづくりの目標3 「魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち」

計 画 等 の 名 称	計画期間(年度)
第3次高松市創造都市推進ビジョン	R6～R13
高松市創業支援等事業計画	H27～R6
高松市農業振興計画	R6～R13
高松市鳥獣被害防止計画	R5～R7
第2期高松市MICE振興戦略	R6～R13
屋島活性化基本構想	H25～
塩江温泉郷観光活性化基本構想	H29～
たかまつライフ促進プラン	R5～R9
第3期高松市文化芸術振興計画	R6～R10
史跡高松城跡保存活用計画	R4～R13
史跡石清尾山古墳群保存活用計画	R6～R15
高松市立美術館運営方針	R3～R7
第2期高松市スポーツ推進計画	R6～R13

■ まちづくりの目標4 「安全・安心に暮らせるまち」

計 画 等 の 名 称	計画期間(年度)
高松市地域防災計画	R5～
高松市国民保護計画	H18～
高松市危機管理指針	H21～
高松市緊急事態等対処計画	H21～
高松市業務継続計画	R5～
高松市国土強靱化地域計画	R6～R13
高松市耐震改修促進計画	R3～R7
高松市中心市街地浸水対策計画	H17～
高松市新型インフルエンザ等対策行動計画	H26～
高松市感染症予防計画	R6～R11
第11次高松市交通安全計画	R3～R7

■ まちづくりの目標4 「安全・安心に暮らせるまち」

計 画 等 の 名 称	計画期間(年度)
高松市水環境基本計画	H31(R元)～R12
高松市営墓地の整備及び管理についての方針	R4～
第2期高松市空家等対策計画	R6～R13
高松市マンション管理適正化推進計画	R5～R14
高松市住生活基本計画	R4～R13
第2期高松市市営住宅長寿命化計画	R4～R13
高松市市道舗装維持管理計画	R5～R9
高松市無電柱化推進計画	R4～R8
高松市橋りょう長寿命化修繕計画	R2～R6
高松市美しいまちづくり基本計画	H22～
高松市景観計画	H28～
第2次高松市緑の基本計画	H22～R10
高松市都市公園施設長寿命化計画	H31(R元)～R10
高松市下水道事業基本計画	R2～R11
第4次高松市生活排水対策推進計画	H28～R7
高松市公共下水道事業計画	R2～R7
高松市下水道ストックマネジメント計画	R5～R9
高松市下水道総合地震対策計画	R2～R7

■ まちづくりの目標5 「都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち」

計 画 等 の 名 称	計画期間(年度)
高松市都市計画マスタープラン	H29～R10
多核連携型コンパクト・エコシティ推進計画	H30～R10
高松市立地適正化計画	H30～R10
第3期高松市中心市街地活性化基本計画	H31(R元)～R6
高松市総合都市交通計画	H22～R10
高松市地域公共交通計画	H22～R10

高松市地域公共交通利便増進実施計画	R5～R10
高松市駐車対策基本計画	H23～R10
第3期高松市自転車等駐車対策総合計画	R4～R13
高松市環境基本計画	R6～R13
高松市地球温暖化対策実行計画	H29～R12
高松市一般廃棄物処理基本計画	H30～R9
高松市食品ロス削減推進計画	R4～R9
高松市次期ごみ処理施設整備基本構想	R4～R14
高松市次期ごみ処理施設整備基本計画	R5～R14

■ まちづくりの目標6 「さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち」

計 画 等 の 名 称	計画期間(年度)
新コミュニティセンター整備計画	H30～R9
高松市自治と協働の基本指針	H23～
スマートシティたかまつ推進プラン(2022～2024)	R4～R6
第2期瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン	R6～R10
高松市職員人財育成ビジョン	H28～
第2次高松市職員の定員管理計画	R4～R8
第9次高松市行財政改革計画	R6～R9
働き方改革3か年重点取組(第2期スマイルプラン)	R4～R6
職員みんなの仕事と家庭の両立サポートプラン(第2次高松市職員活躍推進行動計画)	R3～R7
職員みんなであんしん子育てサポートプラン(第4次高松市特定事業主行動計画)	R2～R6
高松市ファシリティマネジメント推進基本方針	H24～
高松市公共施設有効活用・再配置等方針	H27～
高松市公共施設再編整備計画	R4～
高松市公共施設長寿命化指針	H26～
高松市公共施設等総合管理計画	R3～R32

附属資料

施策成果指標一覧表

まちづくりの目標	政 策	施 策	指標名	
① 誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	11 子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成	111 子育て支援の充実	産後2か月までの産婦・乳児に対する相談支援率 保育施設等の待機児童数	
		112 子どもの成長への支援	1歳6か月児健康診査の受診率 身近に子育ての相談ができるところがあると感じている市民の割合	
		12 支え合う福祉社会の形成	121 地域共生社会の構築	アウトリーチにより地域で課題を抱える人に対応した件数 共助の体制が構築されている地域の割合
			122 高齢者福祉の充実	介護・支援を必要としていない高齢者の割合(自立高齢者率) 認知症サポーター養成講座受講者数(累計)
	123 障がい者福祉の充実		障がい福祉サービス等を活用した人の割合 障害者福祉施設から一般就労への移行人数	
	124 生活におけるセーフティネットの確保		国民健康保険の被保険者1人当たりの保険給付費 就労支援をした生活困窮者のうち、就労につながった人、収入が増加した人の割合	
	13 心身ともに健康に暮らせる社会の実現	131 健康づくりの推進	運動習慣がある市民の割合	
			自分が健康と感じている市民の割合(主観的健康観の維持向上率)	
		132 医療体制の充実	立入検査を行った医療施設のうち、違反が認められた施設の割合	
			地域医療機関からみんなの病院への紹介率	

指標の説明	現況値	目標値(R8)	目指す方向
産後2か月までの産婦・乳児に対し、訪問・電話で状況確認ができた家庭の割合	99.5% (R4)	100%	↑
4月1日現在での保育施設等の待機児童数	12人 (R5)	0人	↓
1歳6か月児健康診査対象者のうち、受診した幼児の割合	96.7% (R4)	97.0%	↑
健やか親子21に基づく調査において、子どもの育てにくさを感じている市民のうち、相談先を知っているなど、何らかの解決する方法を知っている人の割合	76.7% (R4)	90.0%	↑
情報収集や周知活動、本人との関係性構築、同行支援等のアウトリーチにより、課題を抱える人に対し、相談・支援を行った件数	731件 (R4)	916件	↑
地域住民相互の支え合いの活動に参加するボランティア数が、現状より3%以上増加した地域の割合	—	29.5%	↑
介護・支援を必要としていない65歳以上の高齢者の割合	78.8% (R5)	78.8%	↑
認知症サポーター養成講座の受講者数の累計	55,850人 (R4)	66,700人	↑
基幹相談支援センターを通じて、障がい福祉サービス等を活用した人の割合	52.0% (R4)	60.0%	↑
就労移行支援事業所や就労継続支援事業所から、一般就労へ移行した障がい者の人数	67人 (R4)	86人	↑
1年間の保険給付費を国民健康保険の被保険者数で除した数	398千円 (R4)	431千円	↓
就労支援を行った生活困窮者(就労支援プラン対象者)のうち、就労した人、就労により収入が増加した人の割合	57.6% (R4)	75.0%	↑
高松市民の健康づくりに関する調査において、「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している」市民の割合	—	36.9%	↑
高松市民の健康づくりに関する調査において、「現在の健康状態が、良い・まあ良い・普通」と回答した市民の割合	77.7% (R5)	80.0%	↑
立入検査を行った医療施設のうち、違反が認められた施設の割合	22.7% (H31)	22.0%	↓
地域の医療機関からみんなの病院に紹介された患者の割合	73.6% (R4)	75.0%	↑

施策成果指標一覧表

まちづくりの目標	政 策	施 策	指標名	
<p>② 人を育み、多様な生き方が尊重されるまち</p>	<p>21 個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実</p>	<p>211 学校教育の充実</p>	<p>学校に行くのが楽しいと思う子どもの割合</p>	
			<p>児童が体育の授業以外で運動する時間(1日当たり)</p>	
		<p>212 学びを支援する教育環境の充実</p>	<p>ICTを活用して授業を行っている教員の割合</p>	
			<p>大規模災害等を想定した避難訓練を行っている学校の割合</p>	
		<p>22 生涯にわたり学べる社会の実現</p>	<p>221 家庭・地域の教育力の向上</p>	<p>学校・家庭・地域が連携・協働している小学校の割合</p>
				<p>市民活動団体と健全育成団体が連携できた地域数(累計)</p>
	<p>222 生涯学習の推進</p>		<p>生涯学習センターとコミュニティセンターの講座の参加者数</p>	
			<p>市民1人当たりの図書館資料の貸出数</p>	
	<p>23 多様性を尊重する社会の確立</p>		<p>231 人権尊重・平和意識の普及・高揚</p>	<p>人権啓発イベント参加者の人権問題の理解度</p>
				<p>平和意識啓発イベント参加者の平和意識の向上度</p>
		<p>232 誰もが活躍できる環境の形成</p>	<p>女性の社会進出が進んだと思う市民の割合</p>	
			<p>多文化共生が重要と考える市民の割合</p>	

指標の説明	現況値	目標値(R8)	目指す方向
香川県学習状況調査において、「学校に行くのは楽しいと思う・どちらかといえば思う」と回答した児童(小5)・生徒(中2)の割合	76.5% (R4)	77.6%	↑
全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、体育の授業以外で、運動やスポーツをしている児童の1日当たりの平均時間	60分/日 (R4)	64分/日	↑
全国学力・学習状況調査において、「前年度に教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業をほぼ毎日行った」と回答した教員の割合	91.3% (R5)	97.0%	↑
子どもや教職員が主体的に行動できる場面を想定した避難訓練を実施した小・中学校の割合	57.9% (R4)	82.6%	↑
香川県学習状況調査において、「地域学校協働本部やコミュニティ・スクール等の仕組みをいかして、保護者や地域の人との協働による活動をよく行った・どちらかといえば行った」と回答した小学校の割合	91.5% (R4)	97.9%	↑
見守り活動や巡視活動において、防犯ボランティア団体と地域の健全育成団体等が連携できた地域数	3地域 (R5)	24地域	↑
生涯学習センター主催講座とコミュニティセンター主催講座の参加者数	72,733人 (R4)	92,000人	↑
図書館における、市民1人が1年間に借りる図書館資料(視聴覚資料、電子図書等を含む)の冊数	5.9冊 (R4)	6.9冊	↑
人権啓発イベント参加者アンケートにおいて、「人権問題の理解が深まった」と回答した人の割合	97.7% (R3)	99.0%	↑
平和意識啓発イベント参加者アンケートにおいて、「平和意識が高まった」と回答した人の割合	—	95.0%	↑
男女共同参画に関するアンケート調査において、「女性の社会進出が進んだと思う・どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合	69.7% (R5)	75.0%	↑
多文化共生に関するアンケート調査において、「多文化共生が重要と思う」と回答した市民の割合	58.0% (R5)	64.0%	↑

施策成果指標一覧表

まちづくりの目標	政 策	施 策	指 標 名	
<p>③ 魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち</p>	<p>31 人と活力であふれる産業の振興</p>	<p>311 商工業の振興</p>	<p>経営状況が安定している事業者の数 (法人市民税法人税割の対象法人数)</p>	
			<p>法人市民税額(法人税割のみ)</p>	
		<p>312 農林水産業の振興</p>	<p>市内の農業産出額</p>	
			<p>地元の食材を意識して購入している市民の割合</p>	
		<p>313 就業環境の充実</p>	<p>正社員の求人数のうち充足された求人の割合 (正社員の充足率)</p>	
			<p>国が実施する各種制度の認定企業数</p>	
		<p>32 地域活力の創造</p>	<p>321 高松ブランドの向上</p>	<p>地域ブランド調査における「魅力度」</p>
				<p>交流拠点施設「高松盆栽の郷」における売上高</p>
			<p>322 観光振興と交流の推進</p>	<p>主要観光地の来訪者数</p>
			<p>MICEの開催件数</p>	
	<p>323 定住人口の拡大</p>		<p>20～39歳の県外への転出超過数</p>	
			<p>居住3年未満で50歳未満の市民の定住意向</p>	
	<p>33 文化芸術・スポーツの振興</p>	<p>331 文化芸術の創造と継承</p>	<p>文化芸術イベントの参加者数</p>	
			<p>文化財施設の入場者数</p>	
		<p>332 スポーツの振興</p>	<p>市有スポーツ施設の利用者数</p>	
		<p>市民参加型スポーツイベントの参加者数</p>		

指標の説明	現況値	目標値(R8)	目指す方向
法人市民税法人税割の対象法人数	3,796件 (R4.2~R5.1)	3,950件 (R8.2~R9.1)	↑
法人市民税法人税割の調定額	4,877百万円 (R4)	6,929百万円	↑
市内で生産される農作物の生産額の推計値	116.8億円 (R3)	124.5億円	↑
小・中学生の保護者へのアンケート調査において、「家庭で調理する食材について、意識的に地元産を購入している」と回答した市民の割合	31.0% (R4)	38.0%	↑
市内企業の正社員の求人に対し、充足された割合	11.8% (R4)	15.8%	↑
厚生労働大臣の認定を受けたことがある市内企業の数	63社 (R4)	79社	↑
民間研究所が実施する「地域ブランド調査」の魅力度ランキングの順位	110位 (R5)	92位	↑
「高松盆栽の郷」の売上金額	48,000千円 (R4)	72,000千円	↑
屋島山上、塩江温泉郷、玉藻公園、栗林公園の年間利用者数	147万人 (R4)	151万人	↑
(公財)高松観光コンベンション・ビューロー等が誘致・支援したMICEの年間開催件数	111件 (R4)	190件	↑
20~39歳の県外への転出と県外からの転入の差	1,006人 (R4)	550人	↓
市民満足度調査において、「これからも高松市にずっと住み続けたい・住み続けてもよい」と回答した、居住3年未満で50歳未満の市民の割合	61.0% (R4)	73.0%	↑
デリバリーアーツ事業、学校巡回芸術教室、学校巡回能楽教室、まちなかパフォーマンス事業、0才からのコンサート事業、美術館のエントランス活用事業の参加者数	52,898人 (R4)	136,700人	↑
史跡高松城跡玉藻公園、高松市歴史資料館、高松市石の民俗資料館、高松市香南歴史民俗郷土館、高松市讃岐国分寺跡資料館、菊池寛記念館の利用者数	358,830人 (R4)	360,000人	↑
市有スポーツ施設の延べ利用者数	1,918千人 (R4)	2,189千人	↑
高松スポーツカーニバル、トリムの祭典、高松スポーツ・健康感謝祭、高松ファミリー&クォーターマラソンの参加者数	10,230人 (R5)	20,000人	↑

施策成果指標一覧表

まちづくりの目標	政 策	施 策	指標名
④ 安全・安心に暮らせるまち	41 災害・パンデミックに強い社会の形成	411 防災・減災対策の充実	地域における防災訓練の実施率
			地域コミュニティ継続計画の策定率
		412 健康危機への対応力の強化	新興感染症等に対応するための訓練の実施回数
			予防接種率 (第2期麻しん風しん混合ワクチン)
	42 安全・安心が守られる社会環境の充実	421 消防・救急体制の充実	人口1万人当たりの出火件数(出火率)
			救急講習の受講者数
		422 安全・安心な暮らしの確保	人口10万人当たりの交通事故による死者数
			刑法犯認知件数
		423 生活衛生の向上	人口10万人当たりの食中毒患者数の全国平均との比較
			犬・猫の殺処分数
	43 暮らしを支える生活環境の向上	431 居住環境の充実	配慮を要する人のための住宅登録戸数
			マッチングにつながった空き家等の数(累計)
432 道路・橋りょうの整備		計画期間(H29~R3)内の橋りょう修繕等着手率	
		幅員4m以上に拡幅整備した市道の総延長距離	
433 景観形成の推進		景観に影響を及ぼす建築物や開発行為等の数	
		公園・緑地の質の向上を図った件数(累計)	
434 汚水対策の推進		生活排水処理施設が利用できる市民の割合	
		改築・更新した下水道管きよの総延長距離	

指標の説明	現況値	目標値(R8)	目指す方向
地域住民が主体となって行う防災訓練を実施した地域の割合	90.9% (R4)	100%	↑
地域コミュニティ協議会において策定する防災活動に関する計画の策定率	61.4% (R4)	100%	↑
新興感染症等に対応できる体制を確保するための訓練を実施した回数	0回 (R5)	1回	↑
麻しん風しん定期予防接種の対象者のうち、接種した人の割合	96.0% (R4)	96.0%	↑
1月から12月までの高松市消防局管内(綾川町、三木町を含む)における人口1万人当たりの出火件数	3.6件 (R4)	3.4件	↓
普通救命講習や各種救急講習会の受講者数	2,871人 (R4)	11,000人	↑
1月から12月までの交通事故死亡者数	3.6人 (R4)	3.1人	↓
1月から12月までの犯罪発生(認知)件数	2,050件 (R4)	2,000件	↓
本市の食中毒患者罹患率から全国の食中毒患者罹患率を除いた数	1.6 (H20~R4)	1.0未満	↓
殺処分となった犬・猫の数	302頭 (R4)	153頭	↓
低所得者、障がい者、高齢者等の住宅確保要配慮者が安心して入居できる住宅の戸数	6,948戸 (R4)	7,626戸	↑
宅地建物取引業者へ空き家、空き地等の情報を提供し、不動産取引が成約した物件数	34件 (R4)	178件	↑
H29からR3までに点検し、修繕対象となった橋りょうのうち、必要な措置に着手した橋りょうの割合	50.0% (R5)	100%	↑
幅員4m以上に拡幅整備済みの市道の総延長距離	2,391km (R5)	2,400km	↑
景観形成に影響を及ぼす規模の建築物や開発行為等のうち、事前の届出が無く施工された件数	4件 (R5)	0件	↓
施設等の改修による高質化や民間活力の導入による利用者ニーズに対応した休養・便益施設の運営などを行った公園や緑地の数	0件 (R4)	3件	↑
下水道、農業集落排水施設、合併処理浄化槽、コミュニティ・プラント等、生活排水処理施設を利用している市民の割合(汚水処理人口普及率)	89.3% (R4)	90.6%	↑
改築・更新した下水道管きよの総延長距離	10.2km (R4)	20.3km	↑

施策成果指標一覧表

まちづくりの目標	政 策	施 策	指標名
<p>⑤ 都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち</p>	<p>51 機能性の高い都市空間の形成</p>	<p>511 コンパクトシティの推進</p>	<p>居住誘導区域内の人口密度</p>
			<p>機能集積を目的としたまちづくり制度の活用件数</p>
		<p>512 中心市街地の活性化</p>	<p>中央商店街における歩行者等通行量(全日)</p>
			<p>中央商店街における空き店舗率</p>
	<p>52 交流・連携を支える都市交通の充実</p>	<p>521 地域交通ネットワークの充実</p>	<p>市内公共交通機関(電車、バス)の利用率</p>
			<p>レンタサイクルの利用者数</p>
		<p>522 広域交通ネットワークの充実</p>	<p>高松空港の利用者数</p>
			<p>高松港コンテナターミナル取扱量</p>
	<p>53 環境と共生する脱炭素社会の実現</p>	<p>531 ゼロカーボンシティの実現</p>	<p>本市域の温室効果ガス排出量</p>
			<p>市内における太陽光発電システムの発電総容量</p>
		<p>532 循環型社会の形成</p>	<p>1人1日当たりのごみ排出量</p>
			<p>リユースに努めている市民の割合</p>

指標の説明	現況値	目標値(R8)	目指す方向
高松市立地適正化計画に定める居住誘導区域内の人口密度	44.3人/ha (R5)	45.1人/ha	↑
再開発事業や地区計画制度の活用件数	21件 (R4)	23件	↑
中央商店街15地点での歩行者等の通行量の1日当たりの平均値	117,052人/日 (R4)	未定	↑
中央商店街6月、12月調査における空き店舗率の平均値	16.6% (R5)	14.9%	↓
公共交通機関(JR四国、ことでん、ことでんバス)1日平均利用者数の本市人口当たりの割合	13.2% (R4)	14.7%	↑
1年間のレンタサイクルを利用した人数	150,625人 (R4)	189,800人	↑
高松空港を離発着する定期航空路線の利用者数	133万人 (R4)	216万人	↑
1月から12月までの高松港における、20フィートコンテナの取扱個数	107,417TEU (R4)	122,545TEU	↑
排出される年間の温室効果ガスの排出量	2,230千 t-CO2 (R4)	2,108千 t-CO2	↓
太陽光発電システムの導入量(FIT、FIP対応分)	243,092kw (R4)	309,307kw	↑
ごみの年間収集量と資源ごみ店頭回収量から算出した1人1日当たりのごみ排出量	882g (R4)	853g	↓
地球温暖化対策に関するアンケート調査において、「不用品のリユースに努めている」と回答した市民の割合	9.4% (R4)	21.0%	↑

施策成果指標一覧表

まちづくりの目標	政 策	施 策	指標名	
<p>⑥</p> <p>さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち</p>	<p>61</p> <p>地域社会を支える 連携・協働の推進</p>	<p>611</p> <p>地域コミュニティの 自立・活性化</p>	法人化したコミュニティ協議会の数	
		<p>612</p> <p>参画・協働の推進</p>	自治会加入率	
		<p>613</p> <p>離島の振興</p>	たかまつホッとLINEの登録者数	
		<p>614</p> <p>連携の推進</p>	市と市民活動団体等との協働取組数	
		<p>621</p> <p>スマートシティの推進</p>	定住人口(女木島・男木島)	
		<p>622</p> <p>行財政運営の基盤強化</p>	定期航路輸送者数(女木島、男木島、大島)	
	<p>62</p> <p>自立的で推進力のある 行財政運営の確立</p>	<p>621</p> <p>スマートシティの推進</p>	多様な主体と連携・協力している取組数	
	<p>622</p> <p>行財政運営の基盤強化</p>	<p>621</p> <p>スマートシティの推進</p>	瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン 成果指標の達成率	
	<p>621</p> <p>スマートシティの推進</p>	<p>622</p> <p>行財政運営の基盤強化</p>	デジタル活用により解決した地域課題 の件数	
	<p>622</p> <p>行財政運営の基盤強化</p>		たかまつデジタル市役所での申請件数	
			<p>622</p> <p>行財政運営の基盤強化</p>	行財政改革計画の実施項目の達成度
				高松市に誇りと愛着を持って仕事をしている 職員の割合

指標の説明	現況値	目標値(R8)	目指す方向
任意団体からNPO法人や一般社団法人等に法人化したコミュニティ協議会の数	3協議会 (R5)	6協議会	↑
市内の世帯のうち、自治会に加入している世帯の割合	51.0% (R5)	52.0%	↑
市公式LINE「たかまつホッとLINE」の登録者数	11,000人 (R5)	22,000人	↑
市と市民活動団体等との協働取組数	127件 (R4)	131件	↑
女木島、男木島の住民基本台帳登録人口	278人 (R5)	281人	↑
女木島、男木島、大島と高松本土を結ぶ定期航路における輸送者数	273,066人 (R3)	277,000人	↑
企業や大学等の多様な主体と連携・協力している取組数	251件 (R5)	269件	↑
ビジョンに掲げる3つの役割における成果指標の達成率	73.4% (R4)	89.3%	↑
地域課題に対してデジタル技術を実装して解決した件数	—	2件	↑
たかまつデジタル市役所に掲載されている汎用電子申請フォームや引越手続きオンラインサービス等の申請のあった件数	—	2,300件	↑
達成度が「A(80%以上達成)」の事業割合	—	100%	↑
職員アンケート調査において、「高松への愛着心を持ち、高松市職員としての誇りや情熱を強く持っている・持っている」と回答した職員の割合	85.8% (R5)	100%	↑

用語解説

	用語	解説
あ 行	アウトリーチ	英語で「外に手を伸ばす」の意味で、支援が必要であるにもかかわらず届いていない人々に対する積極的な働きかけを行い、支援につなげること。
	インフルエンサー	社会に対して大きな影響力を持つ人のこと。一般的には、主にインターネット上で、人々の考え方や行動に大きな影響を与える情報を発信する人のことを指す。
	ウェルビーイング	身体的・精神的・社会的に良い状態にあること。短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来の持続的な幸福を含み、個人だけでなく取り巻く地域、社会が持続的に良い状態であることを含む包括的な概念。
	オープンデータ	自治体等が保有する公共データを、市民や企業等に利活用されやすいように機械判読に適した、二次利用可能な形で公開すること、また、そのように公開されたデータのこと。
か 行	カーボンオフセット	温室効果ガスの削減努力をした上で、やむを得ず排出してしまう温室効果ガスを、他の場所や他者が実現した排出削減分で埋め合わせをする枠組みのこと。
	関係人口	移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、特定の地域に継続的に多様な形で関わる人のこと。
	グリーントランスフォーメーション(GX)	地域の脱炭素化と産業競争力の向上の両立を目指して、クリーンエネルギーへの転換により経済システムの改革を図る取組のこと。
	交流人口	地域外からの旅行者や短期滞在者等、その地域を訪れる人のこと。
	コンパクト・プラス・ネットワーク	医療・福祉施設や商業施設、住居等がまとまって立地し、住民がこれらの生活利便施設等へ公共交通によりアクセスできるなど、福祉や防災、交通等も含めた都市全体の構造を見直していく考え方のこと。
	コンパクトシティ	住まい・交通・公共サービス・商業施設等の生活機能をコンパクトに集約し、効率化した都市のこと。

	用語	解説
さ 行	シティプロモーション	地域の魅力を認識し、効果的に発信することにより、都市のブランド力を高め、市内外の幅広い世代から、信頼や好感を獲得する取組のこと。
	スマートシティ	ICT等の先端技術を活用しつつ、マネジメント(計画、整備、管理・運営等)の高度化により、都市や地域の抱える課題の解決を行い、新たな価値を創出し続ける、持続可能な都市や地域のこと。
	スマートハウス	家庭でのエネルギー消費を最適に制御するシステムを備えた住宅のこと。
	瀬戸・高松広域連携中枢都市圏	国の連携中枢都市圏構想に基づき、香川県の高松市、さぬき市、東かがわ市、土庄町、小豆島町、三木町、直島町、綾川町の3市5町が形成する都市圏域のこと。
	ゼロカーボンシティ	2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることを目指す地方自治体のこと。
た 行	大学・地域共創プラットフォーム香川	地域社会・地域経済を支える人材の育成と定着、さらに次世代の活躍の場づくりを共創し、地域社会の発展に寄与することを目的に、香川県内の高等教育機関、産業界、自治体が連携した枠組みのこと。
	地域アーツカウンシル	文化芸術政策の企画立案・遂行や地域の文化芸術活動への助成、調査研究等を実施する体制の構築を促進するための専門性を有する組織のこと。
	デジタルデバイド	ICTを使える人と、そうでない人との間で生じる、地域的・身体的・社会的な格差やそれに伴う社会問題のこと。
	デジタル田園都市国家構想総合戦略	デジタルの力を活用して地方創生を進め、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」の実現を目指して、国が策定している戦略のこと。
	デジタルトランスフォーメーション(DX)	デジタル技術の活用により、人々の生活をあらゆる面でより良いものへ変化させていくということ。
	デジタルリテラシー	デジタル技術を十分に理解し、適切に活用できる能力のこと。
な 行	二次救急医療機関	主に入院治療を必要とする重症患者に対応する医療機関のこと。

	用語	解説
な 行	ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス (ZEH(ゼッチ))	快適な室内環境を実現しながら、住宅で消費する年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロにすることを目指した住宅のこと。
	ネット・ゼロ・エネルギー・ビル (ZEB(ゼブ))	快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロにすることを目指した建物のこと。
は 行	フードダイバーシティ	「食の多様性」のこと。宗教上の理由から口にできるものが限られていたり、自らの考えから食べることができない人に対しても、食事できる環境を提供する都市を目指すもの。
	フレイル	加齢とともに筋力や心身の活力が低下した虚弱な状態のこと。
や 行	ヤングケアラー	本来大人が担うと想定されているような家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものこと。
ら 行	ロコモティブシンドローム	骨や関節、筋肉などの働きが衰える「運動器の障害」によって「立つ」、「歩く」など移動能力が低下した状態のこと。
わ 行	ワーケーション	「ワーク」と「バケーション」を組み合わせた造語。観光地やリゾート地でテレワークを活用し、働きながら休暇をとる過ごし方のこと。
A to Z	AR	Augmented Reality(拡張現実)の略。現実世界に仮想空間の情報を重ね合わせて表示し、現実を拡張する仕組みのこと。
	COPD	たばこ等に含まれる有害化学物質を長年吸い込むことで気管支に慢性的な炎症が生じたり、肺胞(はいほう)が少しずつ破壊され、肺の機能が気づかないうちに蝕まれて、身体が酸素欠乏になる病気のこと。
	HACCP(ハサップ)	原材料の入荷から製品出荷までの全工程の中で、危害要因を除去低減させるために特に重要な工程を管理し、安全性を確保する衛生管理手法のこと。
	IoT	Internet of Thingsの略。「モノのインターネット」と呼ばれる。自動車、家電、ロボット、施設等あらゆるモノがインターネットにつながり、情報のやり取りをすることで、モノのデータ化やそれに基づく自動化などが進展し、新たな付加価値を生み出す技術的な概念・仕組みのこと。

	用語	解説
A to Z	MICE(マイス)	企業等の会議(Meeting:ミーティング)、企業等の行う報奨・研修旅行(Incentive Travel:インセンティブ旅行)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention:コンベンション)、展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event:エキシビション/イベント)の頭文字であり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベント等の総称のこと。
	PPP	Public Private Partnershipの略。公民が連携して公共サービスの提供を行う手法の総称のこと。指定管理者制度や包括的民間委託、PFI(Private Finance Initiative)など。
	PFI	Private Finance Initiativeの略。公共施設等の建設、維持管理、運営等を包括的に委ね、民間の資金や経営能力、技術的能力を活用して、効率的で効果的に公共サービスの提供を行う手法のこと。
	TEU	Twenty-foot Equivalent Unitの略。20フィートで換算したコンテナ個数を表す単位のこと。
	VR	Virtual Reality(仮想現実)の略。コンピュータによって作り出された仮想空間を、現実であるかのように疑似体験できる仕組みのこと。

第7次高松市総合計画

『人がつどい 未来に躍動する 世界都市・高松』

高松まちづくりプラン（第1期 令和6年度～8年度）

編集・発行 高松市政策局政策課
〒760-8571 高松市番町一丁目8番15号

電話 (087)839-2135 FAX (087)839-2125

メールアドレス seisaku@city.takamatsu.lg.jp

ホームページアドレス
<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kurashi/shinotorikumi/soshikihyo/seisaku.html>

